

自立活動に関する教師の意識変容の学びを支える

今年度から「自立活動専任」の役職を導入しています。これまで、自立活動専任の先生を中心に、自立活動の力量形成を図るための校内研修の在り方、特に、自立活動の「個別の指導計画」の作成から評価に至るまでの検討会や、自立活動の研究授業後の授業研究会の在り方・持ち方について“問い直し”の作業を進めてきました。

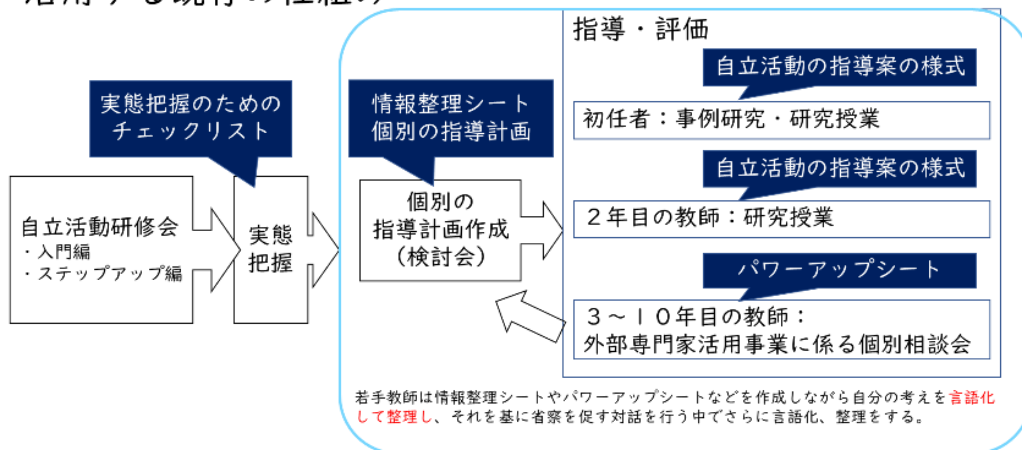
その際、例えば、会で素晴らしいコメントをもらっても、すべての研修する先生に一律に伝わるものばかりではない、という声がありました。当然、先生方の自立活動に関する経験値等は様々です。そういう会をデザインする担当者自身が、自らが抱く高度な価値観や尺度を当てはめて一律に専門性を求め過ぎないように留意することが大切だ、という声もありました。

研修する先生方が、「自立活動を学び続けたい」と思う会にしていけるためには、自立活動に関する知識や考え方をただ上書きさせるような会の進め方だけではなく、先生方自身が、身に付けた経験や価値観、思考の枠組みに対し、新たな気付きや、課題があるとすれば、それとは異なる新しい根底的な意識や価値観、思考の枠組みを取り入れることができるように「意識変容のための学びのプロセス」を支援する関わりを大切にすべきではないか、と整理しました。

そこで、校内の自立活動に関する既存の検討会や研修会を連動／往還させて再構築した新たな仕組みとともに、特に、若手教師(初任～10年目)を対象にして、検討会や研修会で出た同僚や外部専門家の意見や助言を解釈するための「問い直し／問いかけ」を自立活動専任等と一緒にやる機会を設けて「わかった」「なるほど」を引き出す取り組みを進めています。

検討会や研修会を連動させた新たな仕組みと、省察するサイクルの導入により、毎年度、実施している「自立活動の指導に関する自己評価シート」の結果が、どのように変化していくのか、千里の道も一歩からですが、楽しみにしたいと思っています。

活用する既存の仕組み



[参考・引用文献]

「わかりやすい省察的実践 実践・学び・研究をつなぐために」 三輪 建二 医学書院 2023 年

「自立活動に関連した業務や研修等を効果的に連動させ、全教師の力量形成につなげるための仕組みづくり」 古峨 美鈴
日本特殊教育学会第63回大会(茨城大会)自主シンポジウム 話題提供1 2025年

『令和7年度 学校経営方針』で、今年度の重点取組事項の一つに「①自立活動の指導力向上」を掲げています。

「聞く力」、「創る力」、「繋がる力」を大切にして魅力ある虹の原の教育を展開する
- 「R7年度 学校経営方針」でめざす！ -